

舵輪

(財)伏木富山港・海王丸財団

第117号
2009年4月発行



舵輪は(財)伏木富山港・海王丸財団の機関誌です

誌面の充実を図るため今年度から、『舵輪』の発行を年間4回といたします。ご理解ください。

退任の挨拶



業務技師 中村 憲二

私事の一身上の都合により日本海(富山)から瀬戸内海、小豆島に帰ることになりました。共に過ごした海事課職員を始め、ボランティアの方々にも多大な迷惑をお掛けすることとなり、誠に心苦しく

申し訳なく思っています。

様々な展帆イベントや海洋教室等充実した一年でした。今年で79歳となる海王丸、外観はいつ出港してもおかしくない状態ですが、内部は...?!と思うこともしばしばありました。人間と同じく介護が大分必要となってきました、いつまでも海王丸を持続させるべく、皆様の末永いご協力をお願いいたします。

真新しい白帆での総帆展帆された、かつての海の王者の勇姿を見ることができず心残りです。

財団を始めボランティアの皆様の今後の益々のご活躍を祈念してお別れの挨拶といたします。



海事課技術員
古堅 浩正

3月末をもって当財団を退任、航海訓練所に復帰することになりました。

3年間、財団職員、ボランティアの皆様には大変お

世話になりました。おかげさまで、非常に充実した時を過ごすことができました。財団勤務は2回目でしたが、2度あることは3度あると信じ、またみなさんにお会いできる日を楽しみにしております。ありがとうございました。



海事課技術員
本石 暖迪

早春の候、桃の節句も過ぎ新緑が風に薫る季節となりました。皆様におかれましては益々のご健勝のことと心よりお慶び申し上げます。

さて、私は去る3月31日を以て当財団を後に、独立行政法人航海訓練所銀河丸に甲

板員として乗船いたします。財団関係者並びにボランティアの皆様におきましては、ひとかたならずお世話になり厚く御礼申し上げます。皆様に学びました事、また、人と人との絆の大切さを今後の人生に役立てていくつもりです。富山の自然・食・文化も大変気に入っておりますので、休暇の折には必ず顔を出したいと思っております。

今後とも海王丸並びに皆様が、いついつまでもお元気でいられることを心より祈念申し上げまして、挨拶とさせていただきます。本来ならば一人一人挨拶に上がるのが筋ではございますが、文面にて失礼いたします。

* 4月新任職員紹介は次号にて

行事結果

進水記念イベント

2月14日、海王丸79回目の進水記念を記念し、2月15日(日)に進水記念イベントを行いました。当日は天候に恵まれ、大勢の方が来られました。海王丸は61枚の国際信号旗をマスト間に連ね、色鮮やかな満船飾を行いました。セイルを張った姿とはまた違った美しさに、多くの方がカメラを向けていました。

先着300名様に用意した特製チョコレートは、昼過ぎになくなりました。イベントを知らずに訪れた方は、キャプテン直々に渡されるチョコレートに驚いた様子でした。また、通常公開されていない場所の特別見学ツアーも行われ、参加された方々はとても興味深そうに見学されていました。



満船飾の海王丸



特製チョコレートのプレゼント



非公開区域の特別見学ツアー（機関室）

船体整備工事

2月23日から3月14日までの間、一般公開を中断し船体整備工事を行いました。

まず、2月23、24日に船体外板の防食状況の確認そして電食防止のためのアルミニウム陽極棒10本の取付けを行いました。また2月25日から27日は船体の強度調査のため、外板の板厚計測等を実施しました。船体外板の計測は全118か所にわたり、1つ1つダイバーが水中から計測しました。また二重底や上甲板、船首楼甲板についても腐食、亀裂、座屈状況等の調査が行われました。



劣化診断



ダイバーによる板厚計測

ベンディングセイル

3月8（日）、9日（月）にベンディングセイルを行いました。ボランティア35名と業者、海事課員が協力してすべてのセイルを取り付けました。全部が純白のニューセイルで、展帆した姿を想像するだけで総帆展帆が待ち遠しく思います。

参加ボランティアのみなさんにはコース、スタイルの取付けなどたくさんのご協力を頂きました。



4、5、6月の行事予定

ボランティア宿泊研修（再訓練）

ボランティア宿泊研修を次の予定で行います。1年間の活動が無事故で行うために、登檣、操帆の再訓練を行います。ベテランの方、久しぶりに参加の方、基本動作から確認します。返信ハガキにてお知らせください。宿泊できない方はその旨お知らせください。

年月日：平成21年4月18日、19日（土、日）
1泊2日・2食（夕・朝食）

時間：4/18 1300～4/19 1130まで

参加費：1500円（食費のみ）

集合場所：海王丸第一教室

内容：登檣訓練、操帆作業、甲板作業、懇談会など

宿泊参加申込みをされた方には、自動的に食事の手配をします。申込み後に都合が悪くキャンセルされる場合には、ご連絡願います。連絡なくキャンセルされた方には、食事代金をお支払いいただきます。ご了承ください。

総帆展帆

いよいよ21年度の総帆展帆の始まりです。今年は純白のニューセイルを身につけた海王丸。羽ばたかせるにはあなたの力が必要です！たくさん

の皆さんのご参加お待ちしております。

日時：平成21年4月26日(日)
" 5月4日(祝)
" 6月7日(日)
1000~(0900受付開始)
場所：更衣 日本海交流センター研修室
集合 海王丸第一教室



総帆展帆

海王丸ボランティア募集!!!

海王丸ボランティアになってみませんか？
総帆展帆ではマストに登り、ロープを引いて、セイルを広げて爽快な気分を、各種作業(セイル縫いなど)では海王丸の歴史の一部になることができます。また様々なイベントを通じ、色々な人達と出会い、交流することができます。海王丸という船を通じ、自分の世界を広げましょう！
次の予定で新規養成訓練を行います。

第1回 4月 4、5日(土、日)
第2回 5月23、24日(土、日)

参加にはお申し込みが必要です。当財団海事課までお問い合わせください。

鯉のぼり掲揚式

4月17日(金)地元幼稚園児とともに海王丸パークに鯉のぼりを揚げます。あわせて花の迷路も開園します。



セイリング体験

海に漕ぎ出し、爽やかな風とセイリングを楽しんでみませんか？

日時：平成21年 4月25日(土)
4月29日(祝)
5月3日(日)
5月5日(祝)
5月6日(祝)
午前 0900~1150
午後 1300~1550



海王丸前でセイリング!

お知らせ

ボランティア投稿

『新春 伊勢志摩・南紀クルーズ 1/9~1/12』

今回のクルーズは、日本クルーズ客船(株)ぱしふいっくびいなすの伊勢志摩・南紀クルーズ。なぜこのクルーズを選んだかといえば、以前同じ行程に参加したが、新宮港に悪天候で入港できず神戸観光となってしまったこと、それに私の喜寿の祝、また今年が結婚して50年(金婚式)を迎えるのを記念して、娘も一人誘って乗船することを決心しました。しばらく体調の関係で乗船を思い切れずいたので、年末から今回のクルーズを心待ちしておりました。

1月9日14時出港なので、富山を早朝に出発、東京駅で透析をし、関内駅からタクシーで横浜港大棧橋へ。受付をすませ、ぱしふいっくびいなすに乗船。しばらく時間があり、荷物整理したり近くを見学して過ごす。17時30分から船長のウェルカムパーティー&鏡開きが行われ、18時から夕食、洋食のコース料理である。その後色々なイベントで楽しみ、疲れたので早めに就寝。適度な揺れと、コトコトと鳴るエンジン音が心地よくぐっすり眠れた。2日目は鳥羽港沖泊りで、通船にて上陸、伊勢神宮参りの予定だったが、当日波が高く通船を運航できず上陸中止となった。そこで急遽名古屋港へ入港、名古屋港近辺を個々で観光となった。我々は熱田神宮へ初詣して、その後徳川園と徳川美術館を見学した。徳川園は海と川に見立てた大きな池があり、美術館は展示品の数が多く、かなり見学に時間を要した。タクシーで帰船、夕食後、ショーを見て、後はいつもの通り過ごした。3日目は天候も良く、波も静かで、予定通り新宮港へ着岸。9時にバスにて船を出発、熊野三山神社初詣へ。まずは和歌山県と三重県の県境の熊野川沿い最下流にある熊野速玉大

社へお参り、次にバスにて上流へ、急峻な山々を抜け、山深い所にある熊野本宮大社へ。ここから階段が多くなり(168段)、私のように足の悪い者には大変であった。本宮大社は社殿が4ヶ所あり、拝礼の順番が決められている。社殿は洪水で流され、場所を移したそうで、現在日本一の大鳥居が立っている場所が昔の社殿の位置であるそうだ。次は那智の滝へバスで引き返し、約1時間位走ると滝の上部が見えてきた、バス停から階段を下ると、1枚岩を滑り落ちる滝が現れ、多くの観光客で溢れていた。滝は落差が133m、放水口の幅13m、滝壺の深さ10m以上の瀑布。今年は雨量が少なかったせいで、滝の水量が少なかった。133段の石段を昇り、滝からバスで2分くらい、那智大社と青岸渡寺に到着、ここからさらに467段を昇り、那智大社、青岸渡寺をお参りした。熊野三山大社は、国宝とか世界遺産に指定され、社殿の朱塗りの立派な建物であり、お参りした価値があった。大社からバスで20分位で船へ帰り、最後の夜を船内のイベントで過ごした。

冬の航海は、なかなか予定通りにはいかず、今回も大きく予定変更になりましたが、楽しいクルーズでした。帰り姉娘が送ってくれ電車に乗りましたが、泊駅近くの踏切で自動車事故があり、2時間位遅れて帰り着きました。これからも自分の体調の関係で船旅が最も良い方法であると思うので、折があればクルーズだけは続けたいと思います。

ボランティアNo.59 玉井 文次

航海訓練所練習船「銀河丸」寄港

4月23日(水)から28日(火)までの間、独立行政法人航海訓練所の最新練習船「銀河丸」(6185トン)が富山新港海王丸岸壁に着岸します。25日(土)、26日(日)及び29日(祝)に海王丸パークで行われるちびっ子天国イベントに合わせての寄港で、25、26日には一般公開も行われます。最新型航海計器、オンボード型の操船シミュレータ、最新鋭機関など見所満載です。乗船している学生は全国の海員学校の生徒です。26日(日)には海王丸の総帆展帆も行われます。ぜひ、海王丸パークへ足をお運びください。



練習船 銀河丸

寄港期間：4月23日(木)～28日(火)
場 所：富山新港海王丸岸壁
イベント：入港歓迎式 4/23 1100ころ
一般公開 4/25、4/26
0900～1130、1300～1530

問い合わせ先：独立行政法人航海訓練所
HP：http://www.kohkun.go.jp

るるぶ富山09'発売!

12月に取材されたるるぶin富山09'が発売されました。見開き2ページの記事は情報で一杯です。これでまた海王丸パーク、海王丸を訪れる方が増えることでしょう!

富山商船高専との合同実習訓練

1月23日富山商船高専の機関科3年生22名が海王丸構造の研究のため、また2月10日には商船学科1年生(航海・機関)40名が実習を行いました。特に1年生は機関室やマガジンロッカーの構造に目を輝かせていました。全国でも地元で大型練習船のある商船高専は他になく、今後も大いに連携を深めていきます。

見学した1年生のうち、4名が新たにボランティアに登録しました。



海事課職員の説明を聞く学生達

編集後記

いよいよ季節は春です。長く厳しい冬が過ぎ、暖かい季節の到来に心躍りますね。海事課は3名が退任され、新たな3名を迎えます。フレッシュな職員が海王丸に新しい風を吹き込んでくれるでしょう。

先日北日本新聞に海王丸ボランティア年齢制限引き下げの記事が載りました。早速その翌日から問い合わせの電話が相次ぎました。また富山商船高専からは1年生4名が新たに加わります。先日海王丸を訪れた4名は目を輝がやかせて、一日も早いデビューを望んでいました。春の訪れとともに若い力が活躍する日も目前です。ボランティアのみなさん、暖かく見守ってあげてください。

次号は7月です。(も)

舵輪 第117号

発行日 2009年4月

E-mail

by-the-wind@

kaiwomaru.jp

(財)伏木富山港・海王丸財団

〒934 0023 富山県射水市海王町8番地

TEL 0766-82-5181

FAX 0766-82-5197

URL http://www.kaiwomaru.jp

